

精神保健福祉の理論・精神保健福祉論Ⅰ

| | | | |
|-------|---------------|---------|-------|
| | 単位数 | 履修方法 | 配当学年 |
| | 2単位 | R or SR | 2年以上 |
| 科目コード | CS3155・CS3133 | 担当教員 | 阿部 正孝 |



平成24年度以降入学者→「■精神保健福祉の理論」(科目コード CS3155)

平成23年度以前入学者→「◆★精神保健福祉論Ⅰ」(科目コード CS3133)

■科目の内容

精神保健福祉とは一般に、疾病を抱えた人たちのものと考えられた時から、現在では国民全体の心の健康維持・向上、そして精神障害者の社会的自立と社会参加の促進・支援を目指す諸活動をさすものと考えられています。ここでは我が国の精神保健医療福祉の沿革を辿りながら、精神保健福祉士の活動の歴史と、精神保健福祉士の成立までの経過を学びます。テキストには事例も紹介されており、精神保健福祉士の相談援助の各過程の概要も学習してください。

■到達目標

我が国の精神障害者への処遇の変遷、精神保健の法律の成立の背景が説明できる。

■教科書（「◆★■精神保健福祉援助技術各論」と共通）

精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集『改訂新版 精神保健福祉士養成セミナー 4 精神保健福祉の理論と相談援助の展開』へるす出版、2013年 第1～4章

(最近の教科書変更時期) 2014年4月

■在宅学習15のポイント

| 回数 | テーマ | 学習内容 | 学びのポイント |
|----|---------------------------------|--------------------------|---|
| 1 | 障害者福祉の理念と精神障害者の人権① (第1章 Ⅰ・Ⅱ) | 障害者福祉の理念と精神障害、精神障害者の人権 | 障害者福祉支援にあたっての視点、国連原則のポイントについて説明できるようにしましょう。 |
| 2 | 障害者福祉の理念と精神障害者の人権② (第1章 Ⅲ・Ⅳ) | 障害者権利条約の理念、精神障害者および精神障害者 | 精神障害者の人権擁護、精神障害の概念、および国際生活機能分類について理解しましょう。 |
| 3 | 精神保健福祉の歴史と理念① (第2章 Ⅰ) | 精神保健福祉と精神障害者福祉 | 精神保健福祉とは何か、また学問的基盤について理解しましょう。 |
| 4 | 精神保健福祉の歴史と理念② (第2章 Ⅱ) | 精神保健福祉の歴史と理念 | 精神保健福祉の歴史の変容について理解しましょう。 |
| 5 | 精神保健福祉の歴史と理念③ (第2章 Ⅲ) | 精神保健福祉の現状と展望 | 各場面における現状とPSWの課題について理解しましょう。 |

| 回数 | テーマ | 学習内容 | 学びのポイント |
|----|--|-----------------------------------|---|
| 6 | 精神保健福祉の領域におけるソーシャルワークの動向① (第3章 I・II) | 導入期、混乱期 | わが国へのPSW導入の過程を理解しましょう。 |
| 7 | 精神保健福祉の領域におけるソーシャルワークの動向② (第3章 III・IV) | 展開期、拡大期 | 制度の変遷と国家資格化への流れについて理解しましょう。 |
| 8 | 精神保健福祉士の理念と意義 (第4章) | 国家資格としての精神保健福祉士の意義、精神保健福祉士の専門性と倫理 | 国家資格制度の成立過程を把握し、求められる知識を説明できるようにしましょう。 |
| 9 | 精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程① (第5章 I・II) | ソーシャルワークの展開過程、ソーシャルワークの面接 | 相談援助に使用する技術の概要について説明できるようにしましょう。 |
| 10 | 精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程② (第5章 III・IV) | 個別支援、グループを活用した支援 | 個別支援、グループワークの概要を理解し、テキストの事例を正確に理解しましょう。 |
| 11 | 精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程③ (第5章 V・VI) | 地域を対象とした支援、災害時における精神保健福祉士の役割 | ノーマライゼーションの理念と支援にあたっての視点を学びましょう。 |
| 12 | 精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程④ (第5章 VII・VIII) | スーパービジョンとコンサルテーション、ケアマネジメント | スーパービジョン、コンサルテーションの意義と方法、ケアマネジメントのあり方について理解しましょう。 |
| 13 | 精神障害者のソーシャルワークと関連専門職種との連携① (第6章 I) | チーム医療における精神保健福祉士の役割 | 精神科医療における精神保健福祉士の役割を説明できるようにしましょう。 |
| 14 | 精神障害者のソーシャルワークと関連専門職種との連携② (第6章 II) | 専門職の役割と機能 | 精神保健福祉士の専門性を説明できるようにしましょう。 |
| 15 | 精神障害者のソーシャルワークと関連専門職種との連携③ (第6章 III) | チームアプローチおよび生活支援の理念と精神保健福祉士の役割 | 多職種連携の意義や、精神保健福祉士の役割を説明できるようにしましょう。 |

■レポート課題

※課題は1,900字以上、手書き用レポート用紙を使用して記述してください（ワープロ・パソコン印字での提出不可）。

| | |
|-------|--|
| 1 単位め | 日本の精神科医療が欧米諸国と大きく異なっていた歴史的経過についてまとめてください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可 |
| 2 単位め | 精神科ソーシャルワーカーの活動の歴史を述べ、自らが抱いている精神保健福祉士の仕事のイメージをまとめてください。 |

(注)「統合失調症」は2002年以前に発行された文献では「精神分裂病」と表記されていることが多くあります。「精神分裂病」という呼び名にはマイナスのイメージがあり、差別や偏見を生み出しているのを是正するために、現在では「統合失調症」と呼び名が変更されています。

(平成27年度以前履修登録者) 2016年4月よりレポート課題が変更になりました。『レポート課題集 2015』記載の課題でも2017年9月までは提出できますが、できるだけ新しい課題で提出してください。

■アドバイス

レポート作成の留意点

- ① 教科書を熟読し、内容を深く理解することに努めてください。また、必要に応じ、教科書記載の参考書を読むことにより一層の理解につながります。
- ② 教科書の内容を写すのではなく、各自の言葉で記載することに努めてください。
- ③ 引用・参考文献は教科書も含めて3つ以上はレポートに出典明示するようにお願いします。

1 単位め アドバイス

テキスト2章を読み、我が国の精神保健医療福祉の沿革を理解し、諸外国の制度に触れながら述べるのが求められています。

2 単位め アドバイス

テキスト3・4章を読み、精神保健福祉士国家資格制度の成立過程を把握しながら、自分の考えも述べてください。

■科目修了試験 評価基準

- ・『レポート課題集』本科目全体の内容についての理解を問います。
- ・問題の題意に適しているかどうかを問います。
- ・解答字数は、800字以上を基準といたします。

■参考図書

教科書記載の参考図書も参考にするとよいでしょう。